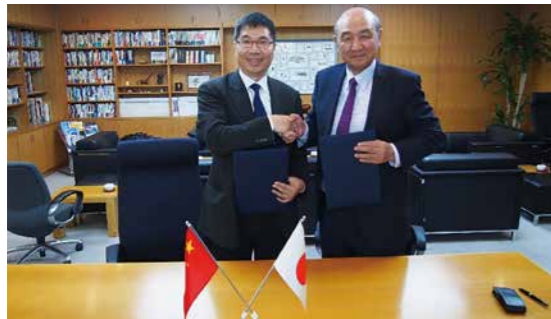


設置目的

国際研究統括室は、各研究部ならびにセンターによる組織的研究力を強化し、共同利用・共同研究の面での機能強化を図るために、旧研究戦略センターと旧国際学術交流室が担ってきた国内および海外との共同研究・共同利用に係る研究戦略機能を統合的に引き継ぎ、新領域の開拓のための共同利用型研究体制の基盤整備及び国際・国内戦略を立案し統括することを目的として、平成29年4月に設置されました。具体的には、共同利用型研究プロジェクトの実施体制の改善、学術交流協定(国内外)締結方針の策定と締結、海外研究動向調査、外部資金に関する情報収集と情報提供など、本館がより戦略的かつ組織的に国際的な研究連携や共同研究を推進していくために必要な活動をおこなっています。

海外の研究機関との研究連携、研究協力の推進

研究連携や研究協力のために、海外の研究機関との学術協定について、調査・締結を進めています。平成28年度は、4月に中国・浙江大学と、3月にカナダ・ブリティッシュコロンビア大学人類学博物館との間で学術協定を締結しました。



中国・浙江大学との協定調印式

協定先機関名	協定締結日	協定の概要および平成28年度活動概要
ブリティッシュコロンビア大学 人類学博物館—UBC—(カナダ)	平成29年3月9日	研究交流、人材交流、データベース構築の協力など。28年度に、両博物館における研究活動や博物館活動を促進・活性化させることを目的に協定が結ばれた。
浙江大学人類学研究所・図書館(中国)	平成28年4月19日	資料の寄贈、人材交流、共同研究など。平成28年度には、同大学の図書館に図書が寄贈された。
ヴァンダービルト大学(米国)	平成28年1月15日	国際共同研究、国際シンポジウムの開催など。28年度には、地理情報システムを活用した共同研究が推進された。また国際シンポジウムが開催され、来年度以降の活動計画が定められた。
国立台湾歴史博物館(台湾)	平成27年10月17日	共同研究、博物館展示協力など。28年度には、同博物館で開催を予定している、特別展「記録台湾」の準備作業がおこなわれた。
北アリゾナ博物館(米国)	平成26年7月4日	学術交流・研究の強化・発展。28年度には、刊行物の出版、資料の熟覧調査を行い、展示を通じた企画の検討を開始した。
文化省文化財保護局(マリ)	平成26年5月7日	マリの文化財の保護と研究、教育、普及に関する協力。28年度には、1999年度から実施してきた共同研究の成果として出版された論文をフランス語で出版する計画を立て、研究雑誌「Etudes Maliennes」に特別号として出版した。
中国社会科学院民族学・人類学研究所(中国)	平成24年8月28日	学術交流ならびに研究プロジェクトや研究資料、学術情報及び公開出版物の交換と相互利用の展開など。28年度には、これまでの成果を英文と中文の論文集にまとめ、刊行準備をおこなった。
国立博物館(フィリピン)	平成24年7月18日	共同研究、研修、出版、展示等のプロジェクトにおける学術的な研究および交流の促進など。28年度には、共同執筆論文の準備をおこなった。
アシウィ・アワン博物館・遺産センター(米国)	平成24年6月3日	学術協力、共同研究のプロジェクトの展開、博物館資料の展覧および教育分野における協力活動など。28年度には、これまでの国際ワークショップをまとめたものを刊行した。また、今後の連携や成果公開の方法についても意見交換をおこなった。
ベトナム生態学生物資源研究所(ベトナム)	平成24年3月22日	共同研究、研修、出版、展示等のプロジェクトにおける学術的な研究および交流の促進など。28年度には、共同執筆論文がジャーナル「The Journal of Japanese Botany」に掲載された。
ロシア科学アカデミー・ビョートル大帝記念人類学 民族学博物館(クストカメラ)(ロシア)	平成23年10月21日	学術・文化の両分野における相互交流および協力関係を発展など。28年度には、シーボルトとオーヴェルメール・フィッセルが収集した資料を紹介する図録を作成した。
ロシア民族学博物館(ロシア)	平成22年12月3日	博物館学、調査研究、文化財保護の各分野における協力と相互支援の推進など。28年度には、終了した機関研究に関するSERの刊行準備を進めるとともに、ロシア民族学博物館のアイヌ資料の共同調査などをおこなった。

エジンバラ大学(英国)	平成22年5月17日	学術交流ならびに共同的な研究事業の促進など。28年度には、両機関が協力して刊行予定の英文論文集の編集が行われた。また、特別客員を招へいし、国際セミナーが実施された。
国立台北芸術大学(台湾)	平成21年5月15日	相互の学術交流、研究プロジェクトの展開、博物館展示・教育活動に関する協力、学術情報・出版物の交換など。28年度には、共同研究を進めた後、台湾で国際フォーラムを開催し、また国際研究ワークショップを本館と東北歴史博物館で開催した。
内蒙古大学(中国)	平成20年9月22日	双方の教職員・研究者の交流・研究プロジェクトの展開、博物館展示・教育分野における協力、学術資料・出版物の交換など。28年度には、文化人類学を活かした北東アジア地域研究のあり方について、協議をおこなった。
韓国国立民俗博物館(韓国)	平成19年7月11日	研究者交流、共同研究、研究集会の実施、博物館展示・教育活動に関する協力、学術情報・出版物の交換など。28年度には、映像制作についての協議をおこなった。
順益台湾原住民博物館(台湾)	平成18年7月1日	共同研究、博物館展示協力など。28年度には、台湾で研究発表や本館で研究ワークショップが行われた。企画展「順益台湾原住民博物館所蔵・学生創作ポスター展 台湾原住民族をめぐるイメージ」も開催された。
国立サン・マルコス大学(ペルー)	平成17年6月14日	考古学分野における共同研究員調査の遂行、ならびにそれに基づく学術交流を促進すること。28年度には、パコパンバ遺跡の発掘調査、同大学の学部学生の指導、ペルーと民博で開催された学会で発表を行ったほか、成果物も刊行された。

みんぱくフェローズ

これまで本館と関わりのあった海外の研究者、および本館と関連の深い国内外の研究機関を「みんぱくフェローズ」として位置づけ、そのネットワークを構築しています。

ネットワーク内の情報交換の手段として、英文のニューズレター(MINPAKU Anthropology Newsletter)を年2回発行し、交流を促進しています。「みんぱくフェローズ」として約1,200件が登録されています。

フェローズ地域別一覧 平成29年3月31日現在

地域	
アジア・中東・オセアニア	686
ヨーロッパ	179
北米・中南米	220
アフリカ	64
合計	1,149



MINPAKU Anthroplgy Newsletter

国内の研究機関等との研究連携、協力の推進

国内の大学等の研究機関や学会とも研究連携や協力、共同研究等の推進のため、学術協定を締結しています。平成28年度は、7月に神戸大学大学院人文学研究科との間で協定を締結しました。

協定先機関名	協定締結日	協定の概要
神戸大学大学院人文学研究科	平成28年7月15日	研究教育のための学術交流。
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	平成27年11月25日	世界諸地域の言語と文化に関する学術研究、連携協力。
株式会社海遊館	平成27年11月19日	産学連携の推進、学術研究の振興、研究成果による社会貢献、連携協力。
追手門学院大学	平成27年4月22日	地域文化の継承と創造に関する学術研究、連携協力。
大阪工業大学	平成27年3月23日	情報メディア・デジタルコンテンツに関する学術研究、連携協力。
立命館大学	平成26年4月10日	食に関する学術研究、連携協力。
金沢大学	平成26年3月23日	両機関間の連携・協力の実績を基盤に、緊密かつ組織的な体制強化。
日本国際理解教育学会	平成25年3月28日	研究連携、研究交流、相互の研究成果の活用の促進。人類社会における学術の発展と普及への寄与。
日本文化人類学会	平成20年2月27日	研究連携、研究交流、相互の研究成果の活用の促進。人類社会における学術の発展と普及への寄与。